

# 北ガスグループ 2019年度 事業計画

---

北海道ガス株式会社

2019年4月26日

# 2019年度の主な取り組み

～ 「総合エネルギーサービス事業」展開に向けた強靱な基盤整備

「北ガス石狩発電所」



## 1. ガス事業基盤の強化

- お客さま件数、開発量の増大
- ガスマイホーム発電、業務用コージェネレーションの普及拡大

「ガス導管延伸」



## 2. 電力事業の推進

- 全道全域での需要の獲得
- 天然ガスと再生可能エネルギーのベストミックスを実現する電源調達・整備

災害に強い  
社会づくりへの貢献

## 3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

- 「EMINEL」の拡販
- 地域連携
- CEMS (Community Energy Management System)

## 4. 事業・人材基盤の強化

- 供給防災センター
- 働き方改革、女性活躍推進、健康経営

## 5. 地域貢献

- 北ガス硬式野球部

「北ガスの電気とどけ隊」



「EMINEL」

～ エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造 ～

# 1. ガス事業基盤の強化

## (1) お客さま件数、開発量の増大

### ガス導管延伸営業

- ・家庭用の沿線需要獲得、業務用物件の面的需要開発

2030年度までに  
100億円超を投資し、  
約330kmを整備



### データ活用型営業の強化、新サービスの提案

- ・GHP省エネ・遠隔システムの訴求
- ・飲食店向け「北ガスグルメパートナー」による関係強化



### LNGサテライト供給の拡大

- ・エンジニアリング力による付加価値提案
- ・全道全域での産業用以外の分野での需要掘り起こし



## (2) マイホーム発電、業務用コージェネレーションの普及拡大

### エネファーム、コレモの拡販

- ・BOS機能(ブラックアウトスタート)の提案による営業強化
- ・余剰電力の買取サービス(コレモ)による経済性、環境性を訴求



### 重要拠点への天然ガスコージェネレーションの提案

- ・強靱性の高い中圧導管を活用し、病院・学校・避難所等へコージェネレーションを導入



## 2. 電力事業の推進

### (1) 全道全域での需要の獲得

#### 接点機会を活用したPRの強化

- ・様々な業務接点機会での営業強化
- ・アライアンスの強化  
道内都市ガス事業者を中心とした連携強化



### (2) 電源の調達・整備

天然ガスによる自社電源を基盤とした、再生可能エネルギーとのベストミックスによる電源を整備

#### 天然ガスコージェネレーション(自社電源)

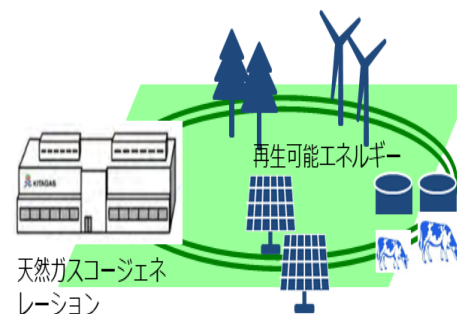
- ・北ガス石狩発電所 → 安定供給、環境性、経済性の向上
- ・北4東6再開発地区「46エネルギーセンター」: 315kW  
・4月27日 運転開始
- ・北7東2(札幌市)「札幌発電所」: 7,800kW × 2台
  - ・北ガスグループ本社ビル併設。6月運転開始予定
  - ・「北ガス石狩発電所」と同様のガスエンジン
  - ・発電電力量: 約7,600MWh/年

#### 再生可能エネルギーの導入拡大

- ・卒FITへの対応 等



札幌発電所(天然ガスコージェネレーション)



### 3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

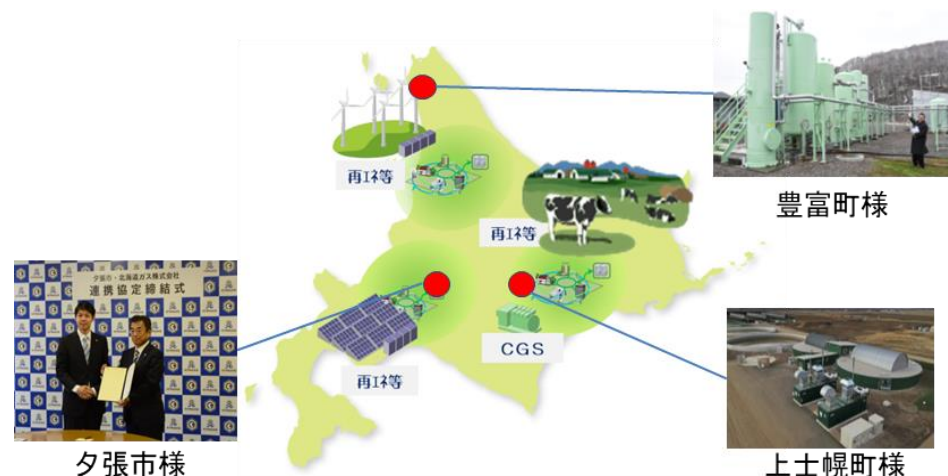
#### (1) 「EMINEL」の拡販

- ・北海道の暖房利用に着目した、  
当社独自のエネルギーマネジメントシステム
- ・拡販に向けて、ハウスメーカー様、施主様への  
提案や、エコネットワーク様(ハウスメーカー様の  
暖房工事会社)との連携強化
- ・全道各地へ拡大し、2023年度までに1万件へ



#### (2) 地域連携

- ・道内各自治体とともに、「まちづくり」と一体となった  
効率的で環境性・持続性に優れた  
「地産地消型エネルギーモデル」を推進
- ・北海道の脱炭素化を推進し、かつ地域活力を向上
- ・地産地消のエネルギーモデルを確立し、  
他地域へ拡大





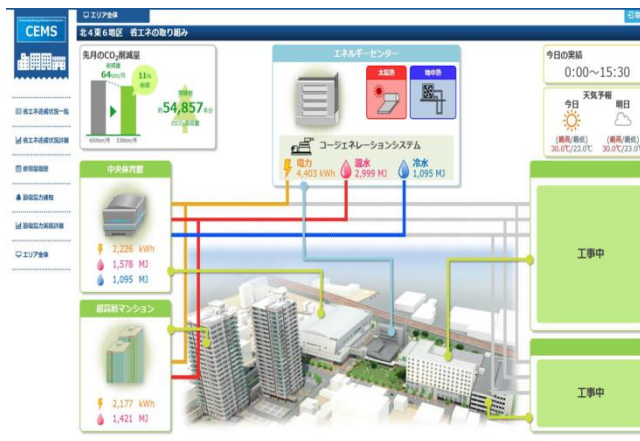
### 3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

#### (3) CEMS(コミュニティ エネルギー マネジメント システム)

- ・天然ガスコージェネレーションに加え、再生可能エネルギーを取り入れたエネルギーセンターより、地区の建物へ熱電供給。災害時もエネルギーを継続供給。
  - ・「CEMS」により、省エネ、ピークシフトを需要側へ積極的に働きかけ
- ⇒ 「省エネ・低炭素」「強靱化(レジリエンス)」「エネルギーネットワークの最適化」を図る

#### 北4東6周辺地区再開発

- ・スマートエネルギー事業(4月27日運転開始)



CEMS(コミュニティエネルギーマネジメントシステム)



エネルギーセンター

#### 新さっぽろ地区再開発

- ・北4東6でのスマートエネルギー事業の知見を活かし、エネルギーセンターを建設 (2022年7月運用開始予定)



再開発地区完成イメージ

## 4. 事業・人材基盤の強化

### (1) 災害対応力の強化

#### 供給防災センターの稼働開始

- ・6月10日(月)より稼働開始予定(北ガスグループ本社ビル)
- ・全地区、全時間帯の「保安・供給・防災」に関する指令機能を集約
- ・厳冬期の夜間・休日等のシビアコンディション下でも、全地区の緊急対応を自立的に実行

高い耐震性能を確保し、  
かつ、札幌発電所を併設した本社ビルの「業務棟」に  
「供給防災センター」「コールセンター」「システム部門」を集約

↓  
災害対応力、事業継続性を飛躍的に向上



北ガスグループ本社ビル完成イメージ

### (2) 人材基盤の強化、安全かつ効率的な業務遂行に向けた環境整備

#### 働き方改革

#### 女性活躍の推進

#### 健康経営

- ・3つの取り組みを推進し、北ガスグループ全体の人材育成、組織力を向上させる



#### 北ガスグループ作業服のリニューアル

- ・26年ぶりに全面リニューアル
- ・安全面、機能面を向上させ、安全かつ効率的に業務が行える環境を整備



新作業服イメージ

## 5. 地域貢献

### ○ 硬式野球部の活動

- ・地域とつながり、スポーツ・文化の振興、地域のさらなる活性化に貢献

#### 地域と北ガスグループの成長エンジンへ

- ・道内各地で「少年野球教室」を開催予定  
(2018年度は、札幌で2回、函館で1回開催)

- ・2019年度スローガン



**超成長** ~ 北の青い炎となれ  
2019 "Breakthrough" **猛進**

4月に7名の新人を加え、部員22名、  
スタッフ6名、計28名で活動中。  
5年以内の全国大会出場を目指す

◇北ガス野球部サポーターズクラブ会員 : 2,184人 (2019年3月末)



#### <2019年度の公式戦(予定)>

- ・5月 第90回都市対抗野球 北海道地区予選
- ・6月 第61回JABA北海道大会
- ・8月 第71回JABA北海道社会人野球結成記念大会
- ・9月 第45回社会人野球日本選手権 北海道地区予選



## <2019年度の数値目標>

### ■営業計数

		2018年度	2019年度	対前年	伸び率
ガス販売 (千m <sup>3</sup> )	家庭用	192,537	210,000	+17,463	9.1%
	業務用	376,684	396,000	+19,316	5.1%
	卸	9,263	10,000	+737	8.0%
計		578,484	616,000	+37,516	6.5%
お客さま件数(件)		577,763	583,000	+5,237	0.9%

		2018年度	2019年度
電力販売	お客さま件数(件)※低圧	138,353	172,000
	販売量(千kWh)	794,645	1,100,000

### ■設備投資係数

		2018年度	2019年度	備考
設備投資 (百万円)	供給設備	5,705	6,900	需要本支管、経年管対策 等
	その他	10,358	7,800	札幌発電所、新社屋 等
	合計	16,063	14,700	